











1 クレーンが部材を運んでいる様子を見学 2 みんなでテコのチカラを使ったらボルトが外れたよ 3 橋げたを直接触って重厚感を確認 4 全然外れないよ～ 5 6 橋げたを装着する瞬間。

9/7 MON

地域のまちづくりを考えるきっかけに
見て　触って　回してみる

新町川河口

現在、架け替え工事を行っている小方橋の見学会に、小方小学校３年生が参加し、大型クレーンが橋の部材を持ち上げ運ぶ状況の説明を受けたり、橋げたに直接触れて部材の硬さなどを確認したりしました。

また、児童全員で専門の機械で締め付けた特殊ボルトを、自分たちのチカラで外すチャレンジ企画に挑戦。顔を真っ赤にしながら一生懸命ボルトを回そうとする姿がとても印象的でした。児童は「ボルトがいくら頑張っても外せそうにないくらい、固く締まっていたので、実際に橋を渡る時もとても安心です」と話していました。

10/3 SAT

岩国・大竹道路の現状をPR

ゆめタウン大竹





「岩国・大竹道路整備情報ステーション」を開催しました。

これは大竹市、岩国市、和木町が国土交通省、広島県と連携し、令和7年度から実施しているもので、今回が2回目の開催となります。会場では、事業の概要や進ちょく状況を説明したパネルや動画を展示し、市内のみならず岩国市などから買い物ついでに立ち寄った人も多く見受けられました。なお、立ち寄った人からは、慢性的な渋滞解消につながるよう早期の完成を望む声が多くありました。



9/26 SAT

生きものとのふれあいに夢中

栗谷小学校体育館

『川の生きもの観察会』が行われ、11組34人が参加しました。当日は、あいにくの雨で、玖島川で予定していた生きもの採集は無くなりましたが、体育館で生きものの名前を調べたり、生息する生きものから玖島川の水質の判定をしたりしました。

始めに広島県環境保健協会から玖島川に生息する生きものの紹介・捕まえ方の説明がＤＶＤ上映に併せて行われ、次にバケツに入った生きものたちを観察用の容器へ実際に手で触れて仕分けをしました。

子どもたちは「思ったよりやわらかい」や「素早すぎてなかなか捕まえられない」と目をキラキラさせ、ふれあいに夢中になっていました。

今回2回目の参加だった徳丸秀人くん（小方小4年）は「来年も参加して、次は川に入って自分で捕まえたい」と意気込みを話しました。

カメラスケッチ

PART2

9/23 WED

手話言語への理解と普及を願い

大竹駅前交流広場

手話言語の国際デーおよび手話の日に、ブルーライトアップが世界各地で行われました。市でもブルーライトアップイベントを行い、市地域自立支援協議会手話言語条例部会の石原さんは「この取り組みを通して、多くの方に手話について知ってもらいたいと思います」と話しました。



広島広域都市圏魅力発信番組　「元就。二百万一心！」

広島広域都市圏の34市町の魅力を発信する番組で、『レスキュー戦隊マモルンジャー』と『消防フェア』が紹介されます。

放送日　10月31日(土)
21時56分～ 22時
再放送　11月1日(日)
25時05分～ 25時10分
11月2日(月)
18時56分～ 19時
放送局　中国放送（RCCテレビ）



※放送日時は変更される場合があります。

イベントなどで撮影した写真は、「広報おおたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。